

利用できる主なサービス

本人・家族の集いの場

●認知症カフェ（思い出カフェ）

認知症の方や家族、地域の方々等誰が集える場として開設しています。認知症の方や家族が同じ立場で経験を共有したり、参加者同士やスタッフで認知症の相談にも応じます。地域包括支援センターが主催し開催しています。

奥州市 思い出カフェ

検索

●本人ミーティング（本人同士交流会）

認知症の診断を受けた方、またはその疑いのある方が集い、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのより良い暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場所です。

奥州市 本人同士交流会

検索

安否確認見守り

●はいかいSOSネットワーク事業

認知症等の症状により、はいかいする可能性のある高齢者の情報をネットワークに登録し、登録情報を警察署と共有して緊急時に備えます。登録された方には、くつや持ち物に貼るステッカーを差し上げます。ステッカーには登録番号が記載されており、本人の身元確認に役立ちます。また、行方不明になった場合、警察署に加え、はいかいSOSネットワーク協力機関・団体が捜索に協力します。

●警察署

行方不明高齢者の捜索や保護、高齢者の事故や事件の通報を受付対応します。

○奥州警察署
TEL 25-0110



権利擁護

●日常生活自立支援事業

認知症などにより判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用手続きや、公共料金の支払いや年金の受領など、日常的な金銭管理の支援、通帳や証書など、大切な書類の預かりなどを行う事業です。

●成年後見制度

認知症などにより判断能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に保護し、支援する制度です。悪質商法などの被害にあわないように、財産や不動産を管理します。

主な介護保険サービス

●居宅介護サービス

- 訪問介護（ヘルパー）
- 通所介護（デイサービス）
- 通所リハビリテーション（デイケア）
- 短期入所（ショートステイ）
- 小規模多機能型居宅介護
- 訪問入浴 ○住宅改修
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 福祉用具貸与・購入

●入所サービス

- 特別養護老人ホーム
- 介護老人保健施設

奥州市 介護サービス事業所一覧

検索

高齢者福祉サービス

●配食見守りサービス

ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯で、調理が困難な方へ定期的に居宅へ食事提供（配達）するとともに、安否確認も行います。

●在宅寝たきり老人等介護用品給付事業

市町村民税非課税世帯であり、要介護3～5である方を在宅で介護している親族の方が対象です。紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の介護用品が給付対象です。

●日常生活用具の給付

高齢者で防火等の配慮が必要な心身機能の低下した一人暮らし等の方に給付します。

- ①電磁調理器 ②火災報知器 ③自動消火器
- ※利用に際しての審査があります。

●お問い合わせ先／お近くの地域包括支援センター

発行：奥州市認知症になっても安心まちづくり連絡会
担当：奥州市福祉部地域共生社会課
電話：0197-34-2199
発行：令和8年3月発行

ダイジェスト版

おうしゅう

3版

認知症おたすけ便利帳

認知症は、誰もがなる可能性があり、誰もががかかわることになるかもしれない身近なものです。また、高齢化の進展に伴い認知症の人はますます増えると予想されています。

認知症の症状には病気の進行とともに状態が変化するため、どの時期に、どのような支援が必要になるのか、おおまかな目安として流れを示したものを「認知症ケアパス」といいます。

「認知症かな？」と思った時の相談窓口や医療機関、認知症の状態に合わせて利用できるサービス等について掲載したものですので、ご活用いただければ幸いです。

相談窓口

■地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者のみなさんを、介護、福祉、保健、医療などさまざまな面から総合的に支えます。奥州市では、地域包括支援センターを市内8箇所に設置し、きめ細かな相談支援や地域に密着した事業を推進しています。

《地域包括支援センターの窓口》

	担当地区	名称	電話番号
水沢	水沢・佐倉河	地域包括支援センターみずさわ中央	25-6185
	常盤・羽田	地域包括支援センターみずさわ東	34-0073
	南・真城・姉体・黒石	地域包括支援センターみずさわ南	47-3908
江刺	岩谷堂・米里・玉里・梁川・広瀬	地域包括支援センターえさし中央	34-4826
	愛宕・田原・藤里・伊手・稲瀬	地域包括支援センターえさし南	31-2700
前沢	前沢全域	まえさわ地域包括支援センター	34-0702
胆沢	胆沢全域	胆沢地域包括支援センター	47-5228
衣川	衣川全域	地域包括支援センターころもがわ	52-3810

毎日を安心して生活できるために

チームオレンジとは、「認知症と思われる初期の段階から、認知症サポーターを中心とした支援者につなぎ、認知症の人とその家族を支える仕組み」です。

共に活動し考え、楽しむことをモットーに、地域で自主的に行う事業です。

